

学習院大学史料館叢書 第四卷

大石慎三郎編

飯沼新田史料(二)

学習院大学史料館発行

序 文

これは、われわれ「農村史研究会」のメンバー（小林雅子・斎藤洋一・佐藤常雄・須田肇・高沢憲治・林敬・山中清孝および大石）がおこなっている飯沼新田研究に関連する史料集である。これまですでに『飯沼新田史料』(一)と、『飯沼新田史料』(二)をだしており、これはそれに続くものである。

われわれはこの飯沼新田およびその周辺地域調査にあたっては、二つの原則をたてた。

その一つは、論文を書くためだけの虫喰いの史料探訪をせずに、関連史料は悉皆調査をしようということである。新田が大きく、これに関係する村々が多いため、史料所蔵者は予想外に多く、また所蔵史料も思いの外の点数を数えたが、われわれはそのすべてを整理し、その各々について目録を作った。この目録は費用の関係で謄写刷りであるが、機会があればいずれ『飯沼新田関係史料目録』として一冊にまとめ刊行したいと考えている。

第二は、この調査が終わったところで、各自論文をまとめることであるが、主要史料は公刊することで共通の土俵をつくっておこうとしたことである。『飯沼新田史料』(一)(二)はいうまでもなく飯沼新田に関する基本史料であるが、その内容は飯沼新田開発事業に関連しての史料であり、時代も事業完了時までで終わっている。しかし新田はその後も、江戸時代だけで約一四〇年もの歴史を持っており、またそれと密接に関連して動く数多くの村々の歴史があった。

『飯沼新田史料』(一)(二)は、このような史料のなから、重要と思われるものを選んで編集したもので、(一)に「村」「土地」「戸口」「普請」関係史料を収めたのたいし、(二)はそれにつづいて「開発」「生産」「貢租」「訴訟」「流通」

関係の史料を収録している。史料集はこれで一応段落をつけ、われわれはいよいよ本来の目的である研究にとりかかりたい、と思っている。

ところで飯沼新田地域は陸の孤島といわれるだけあって、われわれは調査にあたっての足の不便にひとかたならぬ苦勞をした。そのため調査の初期の段階では、経済学部の大石ゼミの卒業生である根本憲治君に車を提供してもらった。ここに記して御礼を申しあげる次第である。その後佐藤・林両君が相ついで運転を習い車を手にいれた。

さてこの調査については、メンバーの私費を原則としたが、「江戸時代中期における耕地開発の基礎研究」と題する私を研究代表者とする研究に、日本私学振興財団から学術振興資金として九〇〇万円（三〇〇万円ずつ三年間）いただいたのが、この研究および史料集刊行に大変役立つことを記しておきたい。

最後に本書刊行の経緯について一言しておきたい。本書の刊行作業には、大石以下、小川紀子・斎藤洋一・須田肇・副島由美子・浜田佳代子の史料館員があたった。ただし本書のもととなった史料調査・収集および原稿作成等については、前記農村史研究会の小林・佐藤・高沢・林の諸君から多大のご協力を得た。記して謝意を表す。

おわりにあたり、いつも快く家蔵の貴重な古文書の閲覧をお許しいただいている所蔵者の皆様、そして学習院大学史料館叢書の創設と刊行を背後で支えて下さった学校当局の皆様にも厚く御礼を申し上げます。

昭和五十八年三月十日

学習院大学史料館長 大石 慎三郎

目次

序文	1
目次	iii
凡例	xxii
開発	
1 飯沼新田開発願いにつき仲間連判状（寛文9年霜月）	1
2 芦ヶ谷村他三カ村と芦ヶ谷村他一カ村の入会野境道筋決定につき取替証文（貞享4年6月）	1
3 芦ヶ谷村他三カ村刈合原村々最寄の割取許可願書（貞享4年7月）	3
4 原をめぐる七五三場村との出入の対処方連判手形（元禄5年6月）	4
5 村草刈場原をめぐる七五三場村との出入につき村中連判状（元禄5年6月）	5
6 仁連村の原は七五三場村の主張する刈合原ではない旨の口上書（元禄5年8月）	6
7 原をめぐる七五三場村・諸川村との出入につき惣百姓連判手形（元禄5年8月）	7
8 仁連村草刈場が七五三場村との入会であるという先例はない旨の連判証文（元禄5年8月）	8
9 これまで上弓田村百姓のところ下弓田村百姓にしてほしい旨の願書（元禄6年3月）	8
10 弓田村惣検地に際し田畑取立ての褒美として歩広にすべき旨などの申渡書（元禄6年3月）	9
11 新畑取立ての褒美として二十七町歩の山を宛行う旨の証文（元禄9年正月）	9

12	仁連村原の内または沼端通りの新田畑開発許可願書（元禄8年3月）	10
13	飯沼へ新堀をつけ悪水を落とすことの許可願書（宝永3年7月）	10
14	飯沼の悪水落堀願いが叶い沼水が干上った際の取計い方につき取替証文（宝永3年7月）	11
15	沼谷原干上りは五カ村入会地ゆえ我儘な新開は不可と断った旨の口上書（宝永3年9月）	13
16	飯沼新田開発を望む者と望まない者とが和談するようにとの了簡願書（宝永4年正月）	13
17	五カ村入会の沼谷原干上り地を各村付にしてほしい旨の願書（宝永4年）	16
18	馬場村から勝示杭を抜捨て田作を荒したと訴えられた崎房村の返答書（宝永5年11月）	17
19	馬場村他四カ村入会沼は開発せず先規通り五カ村入会沼にする旨の一札（宝永6年4月）	20
20	飯沼新田取立て請負仲間へ加入につき地先受取方取決め一札（正徳元年8月）	21
21	飯沼二番新田成就の節の地面割合方連判証文（正徳元年8月）	22
22	開発割合方などすべて指示に従い背かない旨の惣百姓連判手形（正徳4年2月）	22
23	本畑のみを耕作する方が勝手なので高割された新畑を譲渡する旨の一札（正徳4年3月）	23
24	猿島郡仁連町御用留ならびに諸事覚帳（享保6年〜10年）	24
25	飯沼新開にともなう沼漁獵方などにつき二十四カ村議定書（享保9年12月）	37
26	飯沼水抜き新堀普請請負証文（享保10年正月）	40
27	飯沼新田自分割取り町歩の内から六十町歩を渡す旨などの証文（享保10年4月）	40
28	飯沼新田貴殿割取り町歩の内六十町歩を引請開発する旨などの証文（享保10年4月）	41
29	飯沼新田地代金二十両の請取（享保10年5月）	42

30	御普請入用金百四十八兩の預り証文(享保10年5月)	42
31	東山田村雑木御林の内百町歩の開発許可願書(享保10年8月)	42
32	飯沼水抜き新堀による潰地代金の請取(享保10年10月)	43
33	恩名村分払地の絵図面による譲渡証文(享保10年極月)	44
34	新田出来地分割方などにつき崎房村三太夫・吉右衛門の取替証文(享保11年4月)	45
35	飯沼水抜き新堀拝借金四十兩の請取(享保11年6月)	46
36	持正院を長左衛門新田へ引寺したく許可願書(享保11年7月)	46
37	飯沼ならびに八カ所新田用水を常水かかりにしてほしい旨などの願書(享保12年2月)	47
38	幸手領本郷村武右衛門の出所証文(享保12年3月)	48
39	飯沼新田割取り残地買取り証文(享保12年5月)	49
40	埼玉郡下高岩村百姓与兵衛悻平兵衛妻子共三人の身元引請証文(享保12年7月)	49
41	仁連町善右衛門分地・恩名村分地よりの買請地の猿島郡内での一村立願書(享保12年11月)	50
42	恩名村分地の内三十三町歩の売渡し証文(享保12年11月)	51
43	恩名村分地三十三町歩にかかった諸色諸役金の請取(享保12年極月)	52
44	恩名村分地の内間中村長左衛門へ売却分の諸役など勤め方につき願書(享保12年12月)	52
45	飯沼新田靱種子代金指引方・返納金上納方取決め証文(享保12年12月)	53
46	飯沼新田買請地の拝借返上納金など滞りにつき地所譲渡証文(享保13年8月)	53
47	飯沼新田御普請金返納不納の訳書ならびに残金上納日限承知の証文(享保14年閏9月)	55

48	吉田新井筋分水樋関梓見守役任命につき三反歩年貢諸役免除の申渡書（享保14年10月）	56
49	杓掛村潰百姓が孫兵衛新田出百姓になる際の証文（享保15年4月）	56
50	杓掛村百姓が孫兵衛新田出百姓になる際の証文（享保15年5月）	58
51	杓掛村百姓が孫兵衛新田出百姓になる際の証文（享保15年6月）	59
52	渡呂賦原のうち長左衛門請新田地代金の皆済覚（享保15年10月）	61
53	飯沼縁り御林新開引請町步地代・立木代金の去酉年分皆済覚（享保15年10月）	61
54	一人請新田格別難渋につき来作収納までの救助願書（享保15年10月）	62
55	葛飾郡八子村百姓が孫兵衛新田出百姓になる際の証文（享保15年11月）	65
56	葛飾郡八子村百姓家内女への関所通行証文下付願書（享保15年12月）	65
57	孫兵衛新田出百姓家数・人数改めにつき書上（享保16年3月）	66
58	御林新開引請町步地代・立木代金の去戌年分皆済覚（享保16年8月）	67
59	飯沼新田質地買請証文（享保16年8月）	67
60	埼玉郡上内村百姓が孫兵衛新田出百姓になる際の証文（享保18年2月）	68
61	葛飾郡中島村百姓が孫兵衛新田出百姓になる際の証文（享保18年2月）	70
62	字金戸の葭野を大生郷村新田三組が買請けて廟所堂地にした旨の証文（元文4年7月）	71
63	飯沼新田相続方につき村々願いの趣意上申書（元文5年7月）	72
64	干鯛代金返納滞り出入は内証で済む筈の上申書（元文6年3月）	74
65	飯沼新田諸覚書より信州松本平新開一件抜粹（寛保2年）延享元年）	75

83	長左衛門新田へ引越の豊田郡新宗道村百姓人別送り状 (寛政5年2月)	87
82	長左衛門新田へ引越の豊田郡新宗道村百姓人別送り状 (寛政5年2月)	86
81	長左衛門新田へ引越の豊田郡鯨村百姓の人別送り状 (寛政5年2月)	86
80	長左衛門新田へ引越の豊田郡鯨村百姓の人別送り状 (寛政5年2月)	85
79	長左衛門新田へ引越の豊田郡鯨村百姓の人別送り状 (寛政5年2月)	85
78	長左衛門新田へ引越の豊田郡加養村百姓の人別送り状 (寛政5年2月)	85
77	長左衛門新田へ引越の豊田郡加養村百姓の人別送り状 (寛政5年2月)	84
76	長左衛門新田へ引越の豊田郡加養村百姓の人別送り状 (寛政5年2月)	84
75	長左衛門新田へ引越の豊田郡加養村百姓の人別送り状 (寛政5年2月)	84
74	長左衛門新田へ引越の豊田郡加養村百姓の人別送り状 (寛政5年正月)	83
73	長左衛門新田へ引越の豊田郡加養村百姓の人別送り状 (寛政5年正月)	83
72	長左衛門新田へ引越の豊田郡加養村百姓の人別送り状 (寛政5年正月)	82
71	当御役所様へ長左衛門新田入百姓御引渡しにつき願書 (寛政4年12月)	82
70	長左衛門新田の入百姓になる葛飾郡新井村の女六人の通行許可証 (寛政4年12月)	82
69	長左衛門新田へ引越の葛飾郡新井村百姓の人別送り状 (寛政4年9月)	81
68	長左衛門新田の入百姓になる葛飾郡新井村百姓への関所手形下付願書 (寛政4年2月)	80
67	長左衛門新田の外抱百姓になる都賀郡黒本村百姓の国請証文 (明和9年4月)	78
66	埼玉郡上内村百姓家内女への関所通行証文下付願書 (寛延3年4月)	77

101	長左衛門新田へ引越の越中国礪波郡よりの百姓の請証(天保4年3月)……………	97
100	長左衛門新田へ引越の長三郎の請証(天保2年2月)……………	97
99	長左衛門新田へ引越の越中国礪波郡よりの百姓の請証(天保2年正月)……………	96
98	長左衛門新田へ引越の結城郡武井宿新田百姓人別送り状(天保2年正月)……………	96
97	長左衛門新田へ引越の沓掛村内内野山百姓人別送り状(文政13年正月)……………	95
96	新田引請のための借金返済難儀につき三十両拝借願書(文化10年10月)……………	95
95	恩名村新田用水路として菱毛谷悪水落を用いてよい旨の取替議定書(文化7年11月)……………	94
94	野州芳賀郡同様長左衛門新田へも越後国よりの入百姓仰せつけ願書(文化3年6月)……………	92
93	御支配出役様などへの肴代として近辺獵師から入用を取立てた詫書(文化3年4月)……………	91
92	長左衛門の長左衛門新田・間中村両給人別加入一件吟味下げにつき請書(享和2年11月)……………	90
91	長左衛門新田へ引越の岡田郡孫兵衛新田百姓寺送り状(寛政8年3月)……………	90
90	長左衛門新田へ引越の豊田郡若宮戸村百姓人別送り状(寛政5年2月)……………	89
89	長左衛門新田へ引越の豊田郡若宮戸村百姓人別送り状(寛政5年2月)……………	89
88	長左衛門新田へ引越の豊田郡若宮戸村百姓人別送り状(寛政5年2月)……………	89
87	長左衛門新田へ引越の豊田郡肘谷村百姓の人別送り状(寛政5年2月)……………	88
86	長左衛門新田へ引越の豊田郡肘谷村百姓の人別送り状(寛政5年2月)……………	88
85	長左衛門新田へ引越の豊田郡肘谷村百姓の人別送り状(寛政5年2月)……………	87
84	長左衛門新田へ引越の豊田郡新宗道村百姓人別送り状(寛政5年2月)……………	87

119	飯沼新田用悪水路の定掛場同様進退の請書 (天保13年2月)	116
118	組合内入百姓新蔵欠落につき跡式永統方願書 (天保11年12月)	115
117	長左衛門新田より立帰った生子村新田百姓の人別請取 (天保11年3月)	114
116	拜借返上納に差詰り一度欠落した入百姓の詫書 (天保10年12月)	114
115	覚書のうち井沢弥惣兵衛勤め書抜 (天保10年9月)	112
114	入百姓扶持方ならびに沼廻り賃銀小遣渡し一式差引帳 (天保8年10月~12月)	108
113	長左衛門新田へ引越の越中国礪波郡よりの百姓の請証 (天保8年9月)	107
112	入百姓の家作料・夫食手当料の再拜借願書 (天保7年8月)	106
111	真壁郡折本村百姓娘の人別送り状 (天保7年3月)	105
110	長左衛門新田へ引越の横曾根古新田百姓の人別送り状 (天保7年正月)	105
109	心得違いのあった長左衛門新田入百姓の詫書 (天保5年2月)	103
108	検見廻村の節の入百姓共居住励み方などの見分願書 (天保4年10月)	102
107	猿島郡長左衛門新田百姓の生国・郡村取調べ帳 (天保4年4月)	101
106	長左衛門新田へ引越の越中国礪波郡よりの百姓の請証 (天保4年4月)	100
105	長左衛門新田へ引越の結城郡水口村よりの百姓の請証 (天保4年4月)	100
104	長左衛門新田へ引越の越中国射水郡よりの百姓の請証 (天保4年3月)	99
103	長左衛門新田へ引越の越中国新川郡よりの百姓の請証 (天保4年3月)	99
102	長左衛門新田へ引越の越中国礪波郡よりの百姓の請証 (天保4年3月)	98

- 120 家内一同で逃亡した入百姓への嚴重利解仰せつけ願書（丑年3月）……………126
- 121 家内一同欠落し改心のうえ帰住願いの入百姓預り証文（嘉永6年3月）……………127
- 122 家内一同不斗立出た入百姓の帰住許可願書（嘉永6年3月）……………127
- 123 家内一同退去し真壁郡森添島村に仮住居していた入百姓の帰住願い依頼書（嘉永6年3月）……………128
- 124 家内一同退去し真壁郡森添島村に仮住居中に召捕られた入百姓の下げ願書（嘉永6年3月）……………129
- 125 長左衛門新田へ引越の横曾根古新田百姓の人別送り状（文久4年2月）……………130
- 126 私領渡し・分郷などせず永々御料所据置き再歎願書（年未詳）……………130
- 127 飯沼開発記略下書（明治10年8月）……………132
- 生産
- 1 五カ国蚕種売商売人冥加金上納願書（安永3年2月）……………135
- 2 下猿島組合二十三カ村取締り方議定書（天明7年3月）……………136
- 3 なお三年間これまで通り住宅させてほしい旨の一札（文政3年2月）……………138
- 4 猿島郡仁連町・同新田農間渡世者名前取調べ書（文政10年5月）……………139
- 5 岡田郡崎房村・孫兵衛新田の仕来りと商人諸職人の名前書（文政10年10月）……………141
- 6 猿島郡長左衛門新田農間渡世者名前取調べ書（天保9年8月）……………144
- 7 猿島郡杓掛村
結城郡杓掛村 外五十二カ村組合質屋渡世名前書上帳（天保12年5月）……………146
- 8 岡田郡崎房村
農間余業禁止につき居酒屋いを止める旨の一札（天保13年正月）……………169
- 9 諸色値下げのほか取極め連印帳（天保13年5月）……………170

10	御趣意につき商品値段・職人給金など引下げ帳(天保14年8月)……………	174
11	勸農取締り請書ならびに教諭書写(天保15年7月)……………	191
12	勸農請印帳(天保15年10月)……………	194
13	岡田郡栗山村新田農業出精人再調べ・年中休日再調べ書上帳(天保15年12月)……………	197
14	禁止されていた魚猟をしたことの詫書(弘化3年7月)……………	198
15	米を除いた産物取調べにつき上申書(安政4年正月)……………	199
16	用立たない商品売り歩いていた染草商人の下げ願書(文久2年4月)……………	205
17	勸助新田又兵衛そのほかの者の所持田を下作植付したことの詫書(慶応3年8月)……………	207
18	隣村勸助新田でいわれなく下作したことの詫書(慶応3年9月)……………	208
19	飯沼川魚水揚げ商人仲間議定書(明治元年11月)……………	209
20	猿島郡生子村新田農業出精人書上(明治2年3月)……………	211
21	五カ組勸農役心得方申合せ書(明治3年正月)……………	212
22	豊田郡粟野村物産取調べ書(明治8年3月)……………	213
23	早稲・中稻検見につき仕付反別上申書(年未詳)……………	214
24	蓮根場年貢当暮上納分年延べ願書(天明3年12月)……………	216
25	神田蓮雀町池田屋藤兵衛蓮根仕切写(寛政8年正月)……………	217
26	蓮場を抵当にした借金証文(寛政12年9月)……………	220
27	岡田郡栗山村新田水内反高場・真菰場水腐れ反別小前帳(文化9年8月)……………	221

45	夫食拝借願いにつき生子村新田飢人取調べ上申書(弘化4年2月)	258
44	新規取立て貯穀郷藏の出来見込み日限上申書(弘化2年3月)	256
43	鴻野山村他三ヵ村貯穀郷藏取建てのための御林木伐採とりかかり日延べ願書(天保15年12月)	255
42	猿島郡仁連町新田稲種拝借二十五ヵ年賦返納割付帳(天保15年11月)	252
41	猿島郡仁連町勸農出精人ならびに年中休日書上帳(天保15年6月)	250
40	貸附金拝借証文とその引当の質地証文(天保14年11月)	248
39	猿島郡仁連町・同新田困窮人家数人別取調べ帳(天保8年11月)	246
38	貯稗穀からの夫食拝借小前帳(文化6年8月)	243
37	天明八年よりの貯穀斗立囲置き員数書上帳(文化2年6月)	242
36	大水のため作物皆損につき急夫食拝借願書(天明6年7月)	241
35	拝借夫食・種子貸返納ならびに残金仕訳帳(寛延4年7月)	236
34	五ヵ年季蓮場運上引請証文(安政6年12月)	236
33	蓮場を抵当にした借金証文(嘉永5年3月)	235
32	質地として渡した蓮場を返してもらうにあたっての取替一札(天保14年12月)	234
31	蓮場を定取場にしてほしい旨の願書(天保3年4月)	233
30	蓮根掘上げ売捌き方規定書(文政11年8月)	231
29	岡田郡栗山村新田蓮場水腐れ小前書上帳(文政8年4月)	229
28	岡田郡馬場村新田反高蓮場取下げ小前書上帳(文政元年9月)	228

46	岡田郡馬場村・同村新田郷蔵取潰し願書(明治6年9月).....	258
47	岡田郡栗山村地内船通路地所定書(天明7年2月).....	259
48	郡役足役を来年より高割にすることで内済の濟口証文(寛政4年4月).....	260
49	艀舟一艘売渡しにつき帳面書替え願書(寛政12年4月).....	261
50	伝馬船一艘新造につき届書(寛政13年2月).....	261
51	船改めにつき古間木村新田船数取調べ上申書(文政13年7月).....	262
52	川船改めにつき岡田郡栗山村新田上申書類案文(文政13年8月).....	263
53	飯沼新田通り村々船数取調べ書控(安政7年2月).....	265
54	岡田郡鴻野山村・同村新田船数取調べ書上帳請取(明治7年12月).....	269
55	新規合船への検印願書(明治9年2月).....	270
56	岡田郡鴻野山村沼下げ小船数取調べ上申書(明治9年2月).....	271
貢租		
1	享保十四年栗山村新田年貢割付状.....	273
2	元文四年栗山村新田年貢割付状.....	275
3	寛延二年栗山村新田年貢割付状.....	277
4	宝暦九年栗山村新田年貢割付状.....	279
5	宝暦十年栗山村新田年貢皆済目録.....	281
6	明和五年栗山村新田年貢割付状.....	283

7	明和六年栗山村新田年貢皆済目録	285
8	安永八年栗山村新田年貢割付状	286
9	安永九年栗山村新田反高場年貢皆済目録	289
10	寛政元年栗山村新田年貢割付状	290
11	寛政元年栗山村新田反高場年貢割付状	292
12	寛政二年栗山村新田反高場年貢皆済目録	293
13	寛政二年栗山村新田年貢皆済目録	293
14	寛政十一年栗山村新田年貢割付状	294
15	寛政十二年栗山村新田年貢皆済目録	297
16	寛政十二年栗山村新田反高場年貢皆済目録	299
17	文化六年栗山村新田年貢割付状	299
18	文化七年栗山村新田年貢皆済目録	303
19	文政二年栗山村新田年貢割付状	305
20	文政三年栗山村新田年貢皆済目録	310
21	文政十一年栗山村新田年貢割付状	312
22	文政十二年栗山村新田年貢皆済目録	317
23	天保十年栗山村新田年貢割付状	318
24	天保十一年栗山村新田年貢皆済目録	322